

## 【 臨床研究に関する情報の公開 】

血液がんの治療で当院に入院された患者さまの  
試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願について

項目	内容
1. 研究課題名	化学療法を受ける血液がん患者における身体機能の推移に影響を及ぼす要因分析
2. 研究の対象者	2020年05月01日から2023年12月31日までの間に、血液がんの診断にて化学療法の初回導入となった方のうち、リハビリテーション介入が行われた方を対象とします。
3. 研究期間	2024年11月18日 ～ 2025年5月18日 ※データ収集、学会発表に要する研究期間
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 リハビリテーション部 研究責任技師：リハビリテーション部技師 砂原 正和 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
5. 本研究の意義・目的	化学療法や放射線治療といった抗がん治療を受ける血液がん患者に対するリハビリテーションは、身体機能やがん・治療関連に生じる様々な身体症状、ADL・QOLを改善するとされており、その効果と実施が強く推奨されています。しかしながら、リハビリテーション介入していても身体機能の改善が得られない、または、身体機能の低下が生じる患者群も一定数存在します。このような患者群では治療が奏功しても日常生活の再獲得や在宅への復帰が困難となる可能性が高まることが考えられます。そこで本研究では、血液がんの診断にて化学療法が導入された方の身体機能の推移を調査し、その推移に影響を及ぼす因子を検討します。本研究の結果から、身体機能が低下する患者群の特徴が明らかにすることができれば、リハビリテーション計画を立案するにあたって有益な情報となることが期待されます。
6. 研究の方法	本研究は後方視的研究です。電子カルテ内の診療録より情報収集（次項参照）し、化学療法を受ける血液がん患者の身体機能の推移とその特徴を調査します。本研究に際して、個人の特定が可能な情報は解析に用いません。また、対象者に新たにご負担いただくことはありません。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、BMI、主疾患名、併存症、治療内容、CARG score、リハビリ単位数/実施率、身体機能(PS、握力、下肢筋力、SPPB、6分間歩行距離)、ADL能力(Barthel index)、身体症状スケール(エドモントン症状評価システム)、生理検査値、心臓超音波検査のデータを電子カルテ内の診療録より収集します。
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	患者様の診療情報・データ等は、解析する前にID・氏名・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、個人が特定できないようにした上で、当院のパワードロックをかけたパソコンで保管します。 データを廃棄する際は複数名で完全にデータを消去したことを確認します。
9. 個人情報の保護について	この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は外部に漏えいすることのないように、慎重に取り扱います。研究結果は個人が特定できない形式で学会や医学雑誌に公表される予定です。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、下記の問い合わせ・苦情等の窓口までお申し出下さい。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部 砂原 正和
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション部 砂原 正和 電話：06-6458-5821（代表）